

# 市長コラム

## 水と緑の、人にやさしいまちづくり

「こんな和歌山を見られて嬉しい」「長生きしてよかった」400年の節目に和歌山城周辺で行われた和歌祭では、渡御行列とともに松平健さんの将軍や大名行列も加わり、久しぶりに城下町が笑顔と活気に包まれました。コロナ禍で失っていた何かを少し取り戻せたように思います。

和歌山市は紀の川の河口に位置し、海・山・川に囲まれ、水と緑が豊かなまちです。

私はこれからのまちづくりは、「水と緑の環境にやさしい」、そして人が歩きやすい、運転しなくても公共交通機関で病院や買い物に行ける「人にやさしい」まちづくりが大事だと思っています。

今年4月には、京橋親水公園が完成し、カヌーなど水上のイベントで賑わいました。本町公園の民間活用と合わせ、水辺や緑のオープンスペースとしてまちにうるおいを与えています。市駅と京橋やブラクリ丁が水運でもつながり、歩いても楽しく、ゆっくり水辺を楽しめる、水と緑の環境にやさしいまちにしたいと思っています。

います。

コロナ禍などで、公共交通の維持が難しくなりつつあります。公共交通を利用しやすくするため、郊外の各地域で「低料金の巡回バス」を走らせ、各鉄道駅や路線バスに接続し、市内のどこへでも乗り継いで移動しやすくないかと考えています。「人にやさしいまち」の一つのイメージです。

福祉や防災対策などやるべきことはたくさんありますが、これまでもあちこち走り回って民間活力や国県の支援を活用し、長年の借金を減らしてきました。財源がないからやらないのではなく、財源の確保に努め、まちの未来に必要なことはしっかりと進めるつもりです。

和歌山城はまちのシンボルであり、市民の誇りです。城下町を中心に、市内全域が笑顔に包まれる「水と緑の、人にやさしいまちづくり」を進めてまいります。

和歌山市長 尾花 正啓



今年は  
**8月6日(日)**  
開催!

第54回 紀州おどり  
**ぶんだら節** 参加連を募集します

**初参加  
歓迎!**

園紀州おどり実行委員会事務局(観光課内) ☎435-1234

本市の夏を代表する祭り紀州おどり「ぶんだら節」も今年で第54回を迎えることとなり、8月6日(日)に和歌山城周辺で開催されます。正調「ぶんだら節」、アップテンポの「ぶんだら21」も街頭おどりで楽しんでいただけます。独自の振り付けや衣装に工夫を凝らした連も数多く、観客を一層楽しませていただいております。ぜひ、ご参加をよろしくお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況等により、人数制限や開催内容の変更または中止となる場合があります。

20人以上から「連」としてご参加いただけます。(無料)

- 申込/観光課(市役所10階)で申込用紙に記入
- 申込締切/6月24日(金)

※20人未満のグループや個人は、「飛び入り連」で自由にご参加いただけます。

### 和歌山市民憲章 (昭和41年11月3日制定)

自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。  
互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。  
きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。  
仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。  
教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

**広告** 市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。広告主・広告内容は、市が推奨するものではありません。

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。

### 今月の題字、私が制作しました



市立和歌山高等学校  
デザイン表現科2年  
平尾 絆心 さん

さわやかな雰囲気を出すために明るい色合いにしました。